

ページ	該当箇所	修正前	修正後	備考
11	今後の課題	急速に人口増加が進んだことによる、高齢化への対応が必要です。	急速に人口増加が進んだことにより、 <u>高齢化も一時期に進むことが見込まれるため、その対応が必要です。</u>	急速に人口増加が進んだことと、高齢化への対応の関連がわかりにくいため修正
28	4行目 これまでの経過と実績	レジ袋無料配布の中止を実施した。	レジ袋無料配布の中止を実施。 <u>レジ袋の配布枚数を約90%削減した。</u>	レジ袋配布枚数の削減実績を追加
42	自然環境の指標名	緑地の確保面積の割合	緑地面積の割合	総合計画の修正に伴う修正
	緑地面積の割合の現状値	48.63%	47.85%	総合計画の修正に伴う修正
	同目標	48.64%	47.90%	総合計画の修正に伴う修正
	遊休農地活用事業で利用されている農地面積の現状値	47,919㎡	49,689㎡	総合計画の修正に伴う修正
	同目標	53,919㎡	55,689㎡	総合計画の修正に伴う修正
	再エネによる発電容量の合計の現状値	20,499kW	24,245kW	総合計画の修正に伴う修正
	同目標	32,585kW	35,145kW	総合計画の修正に伴う修正
	1人あたりCO ₂ 排出量の目標	2.12t-CO ₂	2.16t-CO ₂	総合計画の修正に伴う修正
55	上段 方向性の説明部分	ICTを活用した電力消費量の見える化や省エネ関連設備の導入によって、温室効果ガス排出量の割合が高い民生部門での省エネルギー対策を着実に進め、自動車に依存しない環境にやさしい交通への転換を進めることで、エネルギーを効率的に利用するまちづくりを進めます。	ICTを活用した電力消費量の見える化や分散型エネルギーシステム、省エネ関連設備の導入によって、温室効果ガス排出量の割合が高い民生部門での省エネルギー対策を着実に進め、自動車に依存しない環境にやさしい交通への転換を進めることで、エネルギーを効率的に利用するまちづくりを進めます。	パブリックコメントの意見を反映

ページ	該当箇所	修正前	修正後	備考
63	リーディングプロジェクトの考え方	<p>リーディングプロジェクトは、生駒市の目指す環境像の実現に向け、4つの目標を達成するために、分野横断的に計画全体を牽引する役割を果たす取組を抽出しています。</p> <p>リーディングプロジェクトについては、以下の内容を考慮し、設定しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒市の誇る「市民力」を活かし市民・事業者との協働の取組を促進させるもの ・環境面の取組が、社会や経済などの方面にも及び、課題解決につながる取組 <p>【プロジェクトが4つの目標に与える効果】</p> <div data-bbox="651 722 1043 863" style="border: 1px solid black; width: 175px; height: 88px; margin: 10px auto; text-align: center;">表</div> <p>なお、本計画策定時には、上記4つのプロジェクトを設定していますが、計画を推進する中で、社会的・経済的状況の変化等に応じて、目指す目標の達成に寄与する新たなプロジェクトが生まれた場合は、当該プロジェクトも、本計画で進行管理を行います。</p>	<p>リーディングプロジェクトとは、生駒市が目指す環境像の実現に向け、4つの目標を達成するために、分野横断的に計画全体を牽引する役割を果たす取組について、<u>市民や事業者の意見を反映し、具体的な内容や進め方を考えるという仕組みで実施するプロジェクトです。</u></p> <p>計画策定時には、<u>一例として以下の4つのプロジェクトを設定しますが、これらに限られるものではなく、計画を推進する中で、社会的・経済的状況の変化に応じて、目指す目標の達成のために必要なプロジェクトが生まれた場合には、新たにリーディングプロジェクトに設定し、本計画で進行管理を行います。</u></p> <p>リーディングプロジェクトについては、以下の内容を考慮し、設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒市の誇る「市民力」を活かし市民・事業者との協働の取組を促進させるもの ・環境面の取組が、社会や経済などの方面にも及び、課題解決につながる取組 <p>【プロジェクトが4つの目標に与える効果】</p> <div data-bbox="1160 1174 1552 1315" style="border: 1px solid black; width: 175px; height: 88px; margin: 10px auto; text-align: center;">表</div>	<p>リーディングプロジェクトは、来年度以降、市民や事業者の意見を反映し、具体的な内容や進め方を考えるという仕組みで実施するプロジェクトであるということがわかるように説明を追加</p>
70	想定される成果【環境面】	空間の効率的な活用により、天然資源投入量やCO ₂ 排出量が削減する。	施設を新設するよりも、既存の空間を効率的に活用することで、天然資源投入量やCO ₂ 排出量が削減できる。	空間の活用による効果をわかりやすくするために修正